




事業活動実績報告書

施設名	葛飾しらゆり学園幼稚園
教育理念	明るい挨拶元気な子

事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	日頃の活動、遊び、意図的な活動を通して楽しく体力向上と運動能力をはぐくみ、健康の維持・増進と共に脳の活性化を図る
2 実施期間	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日

3 取組概要	(取組日) 令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
	1 週1回の体育講師の活動時にコーディネーショントレーニングを取り入れ、脳の活性化を専門講師を中心に、担任パート職員で共同し取り組んだ。		
	(取組日) 令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
	2 上記同様、音楽、英語でも活動時に表現力コミュニケーション能力を養うだけでなく、コーディネーショントレーニングを取り入れ、脳の活性化を専門講師を中心に、担任パート職員で共同し取り組んだ。		
3 取組概要	(取組日) 令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
	3 バランス感覚を養う運動機器を部屋に常設し、体幹力、調整力を楽しみながら高めていく時間を随時作り、園児の体力づくりへの興味関心が高まるようにした。		
3 取組概要	(取組日) 令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
	4 音楽の専門家による演奏活動を保護者と園児が参加する行事として実施。園児ともに音感や表現力を養う楽しさや日頃園で取り組んでいる脳の活性化、調整力、表現力、コミュニケーション能力を高める取り組みを紹介し、その後の発表会でも活かしていた。家庭でも意識の高揚が図れた。		

3 取組概要	<p>(取組日) 令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>5 行事「親子で体育」を通し、普段体育で取り組んでいるコーディネーショントレーニング、体幹力、調整力向上の運動を親子で実施。プレゴールデンエイジ期での運動の重要性への共通理解を図り、意識の高揚を図った。また、元女子プロボクシング世界チャンピオンを招き、保護者への運動への意識高揚も図った。</p>	
	<p>(取組日) 令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>6 日々実践している裸足教育を通し、土踏まずを作り、怪我をしない身体作りを行っている。また、常によき姿勢作りを担任中心に日々実践し、生活を通して体幹力向上を図った。</p>	
	<p>(取組日) 令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>7 園長、体育の専門講師から幼児期に必要なとされるコーディネーショントレーニングの理論と実技指導の園内研修を実施。教職員の意識高揚を図った。</p>	
	<p>(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p>	<p>写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの</p>
	<p>(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p>	<p>写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの</p>
	<p>(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p>	<p>写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの</p>
	<p>(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p>	<p>写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの</p>

効果検証報告書

施設名	葛飾しらゆり学園幼稚園
教育理念	明るいあいさつ 元気な子

事業の区分(5領域)	健康・人間関係・環境・言葉・表現
1 事業名	日頃の活動、遊び、意図的な活動を通し、楽しみながら体力の向上と運動能力をはぐくみ、健康の維持・増進と共に脳の活性化を図る。
2 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・運動神経が増すプレゴールデンエイジ期に必要な楽しい運動・体験を主体的にかつ意図的に行う。 ・毎日の裸足教育、足裏を意識することによる健康への維持、増進 ・調整力、体幹の力をつける活動を積極的に取り入れ良い姿勢作りをおこなう。 ・コーディネーショントレーニングを通して、楽しく体力向上を図るとともに脳への活性化を図る。 ・音楽・英語でも運動感覚とリズム感覚の相関性を意識した活動、体験を意図的に行う。

計画時

3 実施体制	<p>取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門教科(体育を中心にした音楽、英語)の講師による週1回以上の活動と支援職員配置 ・担任による良い姿勢作り、体幹、調整力への意識づけ ・園長、体育専門講師からの指導助言 ・親子参加型の専門家による行事、演奏会など ・楽しく、主体的に行う体力づくりや脳の活性化が期待できる指導体制・環境づくり
事業後	<p>3についての効果・検証</p> <p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・専門教科の講師がこの事業の趣旨を十分理解し、指導を通して、プレゴールデンエイジ期にあたる園児に楽しく効果的な取り組みの場を設定できた。 ・上記、補助にあたる特にパート職員の声掛けや支援が効果をより高めたことを踏まえ、次年度も体制を継続していく必要がある。 ・担任による良い姿勢作りの取り組みは、体力向上とともに小学校での生活活動に必ずや生きていくはずである。日頃の声掛けや取り組みを続けていく。 ・研修は効果的であったが、次年度複数回実施体制を強化したい。演奏会や保護者を巻き込む取り組みを通し、家庭での意識の高揚を図る。

計画時

4 事業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・運動神経が増す小学生期の「ゴールデンエイジ」前の「プレゴールデンエイジ」の時期に多くの神経回路作りを念頭に、コーディネーショントレーニング・バランストレーニングを多く取り入れていく。そして、調整力=体幹力の向上につなげていく。また、楽しむことで、運動への興味・関心をさらに高める。と同時に、体育以外の音楽・英語でも脳の活性化と表現力、コミュニケーション力等非認知能力を相互に高めていく。 ・日常動作の習得には足首の柔軟性、体幹の力が必要になる。そのスイッチになるのは足裏である。さらに裸足での生活で、直にスイッチの部分に敏感にさせる。バランス力=調整力を養う運動を意図的に取り入れて発達の促進を図っていく。 ・小学校で椅子に座る学習時間に自分の姿勢を維持し、肘を机に付けてあごに手を当てる等、話を聞くことが苦手な子を作らないことを目安とする。そのため、機会あるごとに良い姿勢を意識させ、体幹力の向上を図っていく。
事業後	<p>4についての効果・検証</p> <p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・動くことが好きな園児の育成ができた。また、体幹力、調整力の向上を目指し、継続的に楽しく実施することによって大きな怪我が全くなかった。 ・裸足教育も通年で行うことによって、上記や、健康の維持増進が図れた。 ・良い姿勢づくりを日頃から取り入れることによって自然と体幹が強化され、正しく美しい姿勢づくりがされている。これについては、見学等で訪れる誰もが評価するところである。

5 取組の内容	<p>計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の時間を中心に専門的コーディネーショントレーニング、体幹・調整力トレーニングを実施 ・音楽、英語の時間にも脳の活性化、調整力、表現力、コミュニケーション力をつけることを目的にコーディネーショントレーニング的な要素取りを入れていく。 ・日常の遊び、運動にバランス=調整力向上を図れるような取り組みをする。また、バランス機器を部屋に固定して設置する等、体力作りへの興味・関心が高まるようその空間作りをおこなう。 ・裸足での生活を定着させる。座り方、良い姿勢を意識して取りくむ。 ・親子で参加する専門家の活動、また教職員への研修を実施する。 <p>※上記の充実のため、人件費と用具の補充を中心におこなう。</p>
事業後	<p>5についての効果・検証</p> <p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・各講師の指導内容に、運動神経の刺激や体幹、調整力向上への具体的な取り組みを取り入れたことにより、園児が専門教科の時間をより楽しみにしている姿が見られた。 ・今までは専科の講師1人で指導にあたってきたのだが、複数で園児の活動にあたることで、園児が安全に生き生きと取り組み、結果的に効果が高まっていると感じる。 ・日頃の遊びでも担任からの声掛けがによりコーディネーショントレーニング的遊びが目立ってきた。

計画時

6 環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・体育を中心にした、音楽、英語の各講師による専門的な実践(コーディネーショントレーニング、バランストレーニング、調整力、脳の活性化を図るトレーニング) ・全職員でのねらい達成のための意図的な取り組み ・園長からの具体的な指導、助言 ・空き教室に様々なバランス運動具を常時設置
--------	--

事業後

6についての効果・検証	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度も専門講師は変わらないので、補助者を複数配置し、より効果的な活動になるよう、内容を深めていく。 ・教職員全体がこの事業の意図することへの理解が図れたので、次年度はさらに効果的な取り組みができると期待する。 ・空き教室がさらに増えるので、2つの通称「バランス部屋」を作り、園児が自由に取り組むことによって、さらに意欲・関心が高まることが期待できる。
-------------	---

7

期待される効果
児童の姿

<p>取組を通じて期待される児童の姿や効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動、遊びを通して「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に結びつく。 ○健全な心身の育成や体力(行動体力・防衛体力)、生涯体育の基盤が身につく、主体性のある自立を促し、自己判断能力が高まる。 ○体幹力、調整力の向上 バランス能力の向上を通し、インナーマッスルが強くなる。また、力の加減の仕方が身につく。 ○運動することの楽しさが増し、さらなる体力向上への意欲が高まる。 ○音楽・英語でもアクティブな取り組み内容を通し、脳の活性化と表現力、コミュニケーション能力が相互に高まる。 ○土踏まずを作り、怪我をしない身体作り、健康の維持増進につながる。 ○運動神経を中心に神経回路を活性化させ、結果的に動くことが好きで、将来運動嫌いをなくすことができる。また、危機回避力を高め、けが防止につながる。 ○姿勢が良くなる。授業に集中して取り組む。話を聞く時はおづえをつかない。椅子の背もたれに身体を預けすぎない等、小学校生活において必要な部分の体力を身につけることができる。 ○非認知能力を高め、今後認知能力を高めていくための教育活動に順応できるようになる。
--

事業後

7についての効果・検証	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・運動が楽しいと感じる園児がほぼ100%である。 ・何に対しても意欲的に取り組む園児の姿が多くみられた。 ・健康維持増進、けが防止の観点でもこの取り組みが効果的であったことがわかる。 ・直立時の姿勢、床に座って話を聞くときの姿勢、椅子に座り話を聞く時の姿勢を通し、小学校での授業を中心にした生活スタイルへの移行がスムーズにいくなると確信する。
-------------	--

8

効果検証
総括

<p>事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期に必要なとされている力を専門講師の指導内容で効果をあげてきているのは私自身の長きにわたる教職経験者の目からみてもはっきりわかる。楽しい取り組みを通して体力向上のみならず、非認知能力全体が高まったと考える。 ・プレゴールデンエイジ期に楽しみながら運動神経への刺激、脳の活性化を図る重要性が園全体に浸透してきている。 ・脳の活性化コミュニケーション能力も高まり、運動以外のことにもアクティブに目標設定し、取り組む園児の姿が多々見られる。 ・これらの取り組みは生涯体育の観点から見ても有益であり、近い将来では就学時の教育活動に必ず活かせると考える。
--